

## 【静岡県熱海市】【静岡労働局ハローワーク三島】 宿泊業の人手不足問題に、市と国が連携し対応

## 【課題・目的】

熱海市は、宿泊業における人手不足が深刻化しており、雇用のみならず産業全般への影響も懸念される状況であるため、市の持つ「地域とのつながり」、「熱海ブランド」の強みと、国の持つ「雇用における機動力」の強みを連携し取り組むことで、人手不足問題を解決していく必要がある。

【実施概要】

- ◆ ハローワークは、熱海市に対し、雇用失業情勢（市・町）の情報を提供する、市ではその情報を基に「業界へのアンケート」、「市営住宅の利用に関する調整」を実施するとともに、「関係団体との連携強化」を図る。
  - ◆ 市の協力要請を受けハローワークでは、宿泊関連業種に特化した求人情報紙「熱海でお仕事」を作成し、関東近隣都県及び宿泊関連業種の求人倍率が低く一定の求職者数のある市区町村を管轄するハローワーク（全国）へ情報提供を行い、全国ネットワークを活かした人材確保を図る。
  - ◆ 市、ハローワーク（労働局）による、関係団体及び関係事業所に対して「人手不足分野における雇用管理改善対策」の説明会を実施する。

【役割分担】

【熱海市】

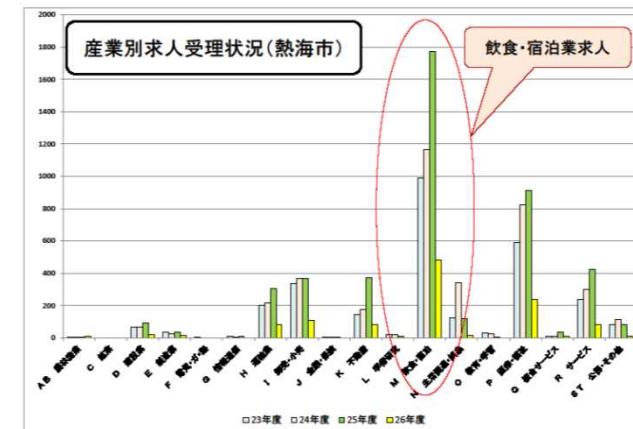
- ◆関係団体との連携調整
  - ◆ハローワークとの連携調整
  - ◆業界団体へのアンケート
  - ◆住居に関する情報提供（検討中）

ハローワーク

- ◆雇用失業情勢（市町）の情報提供
  - ◆求人情報紙作成配布
  - ◆「人手不足分野における雇用管理改善対策説明会」の開催（関係施策への誘導）

## 【效果】

- ◆市は、宿泊業に対する人手不足感に関心を寄せていたが、ハローワークから提供された自市の雇用失業情勢により状況を把握、実態、数値ともに深刻であると判断することになった。
  - ◆市長定例会見でもハローワークとの連携に触れるなど、両者一体となった施策の重要性を共感することになった。



＜熱海市コメント＞

宿泊業の人手不足については周知のものであったが、提供された雇用指標により数値的に確認でき、自治体内部での説明材料として新規施策実施のきっかけとすることができた。今後実行される新たな人手不足打開の施策推進に当たりハローワークと連携したい。

## 〈ハローワークコメント〉

自治体と連携することでより積極的な取組が可能となり、成果を上げることができた。他の市町に対しても同様に連携を図りたい。